

NETIS登録番号	技術名称	マグファイバー工法	
QS-090023-A	副題	自然色防草土吹付工	
分類1	共通工	法面工	キーワード: 法面防草、法面浸食防止 植栽マルチング
分類2	共通工	法面工	
開発目標	自然斜面や法面の雑草抑制と侵食防止		
技術の位置付け	<input type="checkbox"/> 推奨技術	<input type="checkbox"/> 準推奨技術	<input type="checkbox"/> 活用促進技術
特許	<input checked="" type="checkbox"/> 有り (特許番号:) <input type="checkbox"/> なし		
技術賞, 審査証明等	<input type="checkbox"/> ものづくり日本大賞 <input type="checkbox"/> 国土技術開発賞 <input type="checkbox"/> 学会賞 <input type="checkbox"/> 建設技術審査証明		
問合せ先	会社名	日本乾溜工業株式会社	
	住所	福岡県福岡市東区馬出1丁目11番11号	
	担当者	浜嶋	
実績件数	国土交通省	その他の公共機関	民間等
	H26.8.31現在	5件	48件

技術概要: (300字以内)

自然斜面や法面の雑草抑制と侵食防止を図るために、細骨材として、マサ土、黒土、シラスなどの自然土の骨材を使用し、竹笹類材を圧潰加工した綿状竹短繊維と海水中のにがり成分から抽出された低アルカリ性の酸化マグネシウムからなる固化材を水と混合して、従来のモルタル吹付機で施工地面に加圧空気により隙間なく吹付けて固化させることにより、草木類の根の通過を遮断する遮根層を形成させることを特徴とする地面被覆工法です。

この酸化マグネシウムは、肥料取締法7条に基づく肥料登録(登録番号 生第47784号)がなされており、植物を含む全ての自然環境に無害です。

記入欄

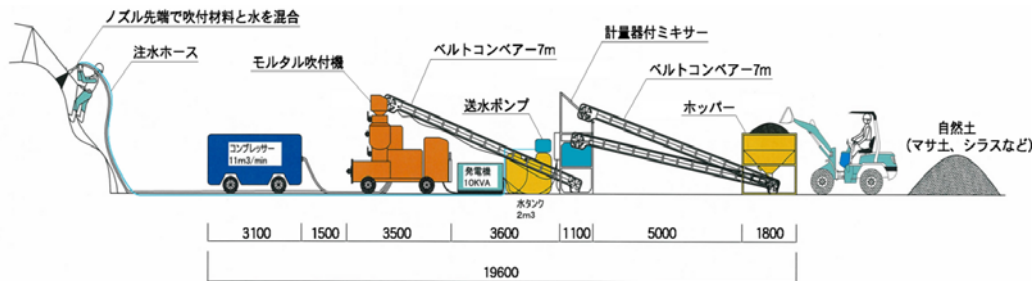
【新規性および期待される効果】

道路のり面等で除草業務の軽減を目的として、モルタル吹付が施工されている場合がありますが、自然景観を損ねるだけでなく環境面でも、少なからず生態系にも影響を与えていることが考えられます。そこで、雑草抑制と侵食防止を図るために土系舗装防草材(自然色防草土)を対象面に法面用の吹付機械を用いて吹付け、景観性や環境負荷を軽減しながら表面保護と遮根の目的を果たす強固で耐久のある遮根層を形成する地面被覆工法(雑草抑制工法)を開発致しました。吹付けた固化物は、天然素材からできているため、使用後も廃棄物とならず、埋め戻し材や植生用土としても再利用できます。

【適用範囲】

- ・斜面安定が確保されている自然斜面や人工斜面(法面)に適用されます。
- ・法面勾配 1割未満では、菱形金網張り工を併用します。
- ・法面垂直高さ 40m未満

【施工プラント】



【植栽併用方法】

マグファイバー工法の大きなメリットの一つに、雑草を抑制しながら必要とされる植栽木のみを選択的に生育させることが挙げられます。自然色防草土には、セメントを一切使用せずに、低アルカリの肥料成分(酸化マグネシウム)を固化材としてますので、直接、植栽木の幹周りに隙間なく吹付けることが可能です。 自然色防草土は、幹の生長を阻害しない適度な圧縮強度に設定できます。

